

2007年度 全日本OP級ヨットオープン選手権  
&  
U-12セーリングチャンピオンシップ

2007年7月27日(金)～7月29日(日)  
和歌山マリーナシティ「和歌山セーリングセンター」

帆走指示書 (Sailing Instructions)

共同主催 日本オブティミストディンギー協会  
和歌山県セーリング連盟、NPO法人和歌山セーリングクラブ  
後 援 和歌山県、社団法人和歌山県体育協会、和歌山県教育委員会  
和歌山市、和歌山市体育協会、和歌山市教育委員会  
和歌山放送、テレビ和歌山  
協 賛 ロート製薬株式会社  
株式会社ゴールドウィン  
株式会社ノースセール・ジャパン  
ハーケンジャパン

略称：この帆走指示書では以下の略称を使用する：

- ・NOR：レース公示
- ・RC：レース委員会
- ・RRS：セーリング競技規則 2005-2008年版
- ・SI：帆走指示書

### 1. 適用規則

本大会はRRSに定義された「規則」を適用する。SIとNORが矛盾する場合は、SIが優先される。

### 2. 参加登録

NORにより参加申込みをした競技者は、次の時間内にレースオフィスにおいて参加登録(大会受付)を完了することにより、レースに参加することができる。

参加登録(大会受付)時間 7月27日(金) 10:00～17:00  
7月28日(土) 07:00～09:00

### 3. 競技者への通告 および帆走指示書の変更

- 3.1 競技者への通告は、クラブハウス前に設置する公式掲示板に掲示される。
- 3.2 SIの変更は、それが有効となる日の最初のレースの予定時刻の60分前までに掲示する。但し、レース日程に変更がある場合は、それが有効となる前日の18:00時までには掲示される。

### 4. 陸上で発せられる信号

- 4.1 陸上で発せられる信号はクラブハウス前に設置されたフラッグポールに掲揚する。
- 4.2 『D』旗を掲揚した時：音響信号1声と共に掲揚される『D』旗は「予告信号は『D』旗掲揚の30分以降に発する。艇は、『D』旗が掲揚されるまでハーバーを離れてはならない。」ことを意味する。

### 5. 海上で発せられる信号

スタートライン又はフィニッシュラインに位置するRC艇に『N/H』旗、『N/A』旗、『AP/H』旗、『AP/A』旗が掲揚された時は、RRSレース信号に定められたそれぞれの意味に加え【全艇直ちに帰港し、帰着申告をすること】を含むものとする。

## 6. レースの日程

7月27日(金)

10:00~17:00 大会受付(計測受付)

10:00~17:00 大会計測(予約優先)

7月28日(土)

07:00 マリーナ開門

07:00~09:00 大会受付(計測受付)

07:00~09:00 大会計測

09:30 開会式・艇長会議

10:25 最初のクラスの1日目第1レース予告信号  
引き続きレースを行う。

18:00~19:30 懇親会(マリーナ内で開催予定)

7月29日(日)

08:00 マリーナ開門

09:25 最初のクラスの2日目第1レース予告信号  
引き続きレースを行う。

ただし、14:00以降に予告信号が発せられることはない。

16:00 閉会式、表彰式

なお、本大会は最大各クラス8レースまでとする。

両日とも海上での昼食を予定しているため、各自で用意のこと。

## 7. クラス旗

OP級 Aクラス・・・『OPクラス』旗

OP級 Bクラス・・・『G』旗

## 8. レースエリア

レースエリアは、このS Iの「添付1図」に示す通りとする。

## 9. コース

9.1 「添付2図」に、各レグのおよその角度や回航するマークの順番を含むコースを示す。

9.2 第1マークへのおよそのコンパス方位は、スタートラインのスターボードエンドに位置したスタートRC艇に掲示する。

## 10. マーク

10.1 コースマークはオレンジ色三角すい形のブイとする。

10.2 スタートマークはスターボードエンドにあるRC艇とポートエンドにあるオレンジ色球形のブイとする。

10.3 AクラスのフィニッシュマークはスターボードエンドにあるRC艇とポートエンドにあるオレンジ色球形のブイとする。

10.4 BクラスのフィニッシュマークはポートエンドにいるRC艇とスターボードエンドの第2マークブイとする。

## 11. スタート

11.1 レースは、RRS26に従ってスタートさせる。

11.2 スタートラインは、スターボードエンドにあるスタートマーク上の『オレンジ旗』を掲揚しているポールとポートエンドにあるスタートマークの間とする。

11.3 スタート信号から4分を経過した後にスタートしようとする艇はスタートしなかった(DNS)と記録される。この項はRRS A4を変更している。

## 12. スタート後のコース変更

レース中に、マークの位置を変更することはない。

### 13. フィニッシュ

- 13.1 Aクラスのフィニッシュラインは、スターボードエンドにあるクラス旗である『OPクラス』旗を掲げた RC 艇の『青色』旗を掲揚しているポールと、ポートエンドのフィニッシュマークの間とする。
- 13.2 Bクラスのフィニッシュラインは、**ポートエンド**にあるクラス旗である『G』旗を掲げた RC 艇の『青色』旗を掲揚しているポールまたはマストと、**スターボードエンド**のフィニッシュマーク（第2マークブイ）の間とする。
- 13.3 フィニッシュした艇は直ちに待機エリアへ戻ること。なお、その帰る途中に、レース中及び予告信号を受けている艇を妨げてはならない。この規則に違反した場合は、それ以降のレースについて失格となるか、またはその他の措置を受ける場合がある。

### 14. ペナルティー方式

- 14.1 RRS 付則 P を適用する。
- 14.2 RRS42 の違反（付則 P）以外の違反については、プロテスト委員会はレースを監視する。プロテスト委員会が違反を目撃した場合、プロテスト委員会は音響信号を 1 回発する。セール番号の呼びかけはしない。これはプロテスト委員会が抗議すべき状況を目撃したことと、1 艇または 2 艇以上がペナルティー回転を履行しなければならないことを意味する。その艇がペナルティー回転を履行しなかった場合、プロテスト委員会は 1 艇または 2 艇以上に対して抗議をすることがある。

### 15. タイム・リミット

先頭艇がコースを帆走して、フィニッシュ後 15 分以内にフィニッシュしない艇は、「フィニッシュしなかった (DNF)」と記録される。この項は、RRS35 と A4 を変更している。

### 16. 抗議と救済の要求

- 16.1 RRS61.1(a)(2) を削除し、以下の要件を追加する。「抗議しようとする艇はレース中目立つように赤色旗を掲揚し、かつフィニッシュ後フィニッシュラインに位置するクラス旗を掲揚している RC 艇に直ちに抗議の意思を RC 艇が確認するまで口頭で伝えねばならない。」この項は、RRS61.1(a) を変更している。
- 16.2 抗議および救済の要求は、RC 事務局で入手できる用紙に記入の上、その日の最終レース終了後 60 分以内に RC 事務局に提出しなければならない。抗議締切時刻は公式掲示板に掲示される。
- 16.3 RC またはプロテスト委員会による艇への抗議の通告は、抗議締切時刻までに公式掲示板に掲示される。これは RRS61.1(b) を変更している。
- 16.4 救済の要求の提出期限は上記の抗議締切時間内、または当該のケースから 90 分以内のいずれか遅い方とする。この項は RRS62.2（救済の要求の締切時間）を変更している。
- 16.5 抗議の通告  
審問の場所及び時刻、抗議の当事者、又は証人として指名されたものを競技者に知らせるため、“抗議の通告”を抗議締切時刻後約 30 分以内に掲示する。
- 16.6 審問の順序及び待機場所
  - a) 審問は基本的に抗議受付順に行う。
  - b) 当事者は、プロテスト委員会事務局前に待機していなければならない。
- 16.7 RRS 付則 P に基づきペナルティーを課せられた艇のリスト及び情報（ペナルティー内容及び回数）は公式掲示板に掲示される。
- 16.8 大会最終日、審問の再開の要求は、次の時間内に提出されなければならない。
  - a) 再開を要求している当事者がその前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。
  - b) 再開を要求している当事者がその当日に判決を通告された後 30 分以内。この項は、RRS66 を変更している。
- 16.9 この SI の 2、18、および 22 の違反は、艇による抗議の根拠とはならない。

### 17. 得点

- 17.1 RRS 付則 A の低得点方式を適用する。
- 17.2 各クラス 8 レースを予定し、最少 1 レースの完了をもって大会は成立とする。
- 17.3 成立したレースが 4 レース以下の場合、全レースの得点の合計とし、5 レース以上成立した場合は、最悪の得点 1 レースを除外したレースの得点の合計とする。

17.4 SI 18.3 でペナルティーを受けた艇の得点は DNF の得点より悪くなることはない。

## 18. 安全規定

- 18.1 海上では常に適当な個人用浮力体（ライフジャケット）を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適当な個人用浮力体と見なさない。もし、浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。この項は RRS40 を変更している。
- 18.2 レースからリタイアする選手は、できるだけ早く RC へ知らせなければならない。
- 18.3 出艇申告、帰着申告は、サインシステムを採用する。競技者は、海上に出る前に出艇申告として自分自身でサインし、帰着後直ちに、帰着申告として同じ用紙にサインしなければならない。この指示に従わなかった競技者は、審問なしで、この違反が認められたその日の各レースの得点に 5 点加算のペナルティーを受ける。
- 18.4 救助を必要とする選手は、笛を吹き、パドルか片腕を振ることで知らせなければならない。RC は、RC が救助を要すると判断した選手を、その選手の意向にかかわらず救助する権限を持つ。このことは RRS62.1(a) による救済の根拠とならない。

## 19. 計測

- 19.1 A クラスは、大会計測を実施する。  
なお、**A クラス、B クラスとも**、クラス規則 4.2(a)、4.3(a) (b) (c) に基づき、**安全備品検査を実施する。**
- 19.2 競技者は大会期間中、ハル、ダガーボード、ラダー、マスト、ブーム、スプリットおよびセールをそれぞれ 1 つのみ使用することができる。これらの艀装品はクラス規則に適合しなければならない。
- 19.3 RC 計測員は、大会の全期間を通じていつでも、RC またはプロテスト委員会指示により計測値の確認を行うことができる。
- 19.4 損傷した艀装品の交換は、RC の承認の後に許可される。ただし、損傷した艀装品の交換を海上で行う場合は、損傷した事が海上の RC によって確認された後交換し、その日のレースの終了後に、交換した艀装品を RC に提出し、承認を受けねばならない。

## 20. オフィシャルボート

オフィシャルボートは以下のフラッグを掲揚している。

- RC 艇：白地に赤で『RC』と示した旗
- プロテスト委員会ボート：白地に赤で『JURY』と示した旗
- レスキューボート：白地に赤で『RC』と示した旗

## 21. 賞

レース公示 (NOR) の通りとする。

## 22. サポート（支援）

- 22.1 競技者をサポートするコーチ及び保護者等は参加クラブ毎にまとめて、大会受付時間中に大会受付にて配布される用紙にて名簿を RC に提出しなければならない。競技者をサポートする者は RRS、NOR、SI の適用を受ける。
- 22.2 競技者をサポートする者が RRS、NOR、SI に違反した場合には、プロテスト委員会の判断により、関係する全艇の当該レースを失格とするか、又は、その他のペナルティーを課すことがある。
- 22.3 サポートボートは次の条件を満たす場合にのみ使用が認められる。
  - a) サポートボートは、RC に対し、レースの参加申し込み時に所定の様式により使用について申請し、その許可を受けなければならない。使用の許可を受けたサポートボートは『グリーン色』旗を掲揚しなければならない。但し、サポートボートは、救助活動を除き、定員の 1/2 を超えて乗艇させてはならない。
  - b) サポートボートは、予告信号からすべての艇がフィニッシュするか、または RC が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまでの間は、スタートエリアおよびレースエリアに入ってはならない。
  - c) サポートボートは、RC から救助活動の要請があった場合には、直ちに RC の指揮下に入り、救助活動に従事しなければならない。救助活動の要請は運営艇に『グリーン色』旗を掲揚して通告する。サポートボートは、この要請があった場合のみ、救助活動のためにスタートエリアおよびレースエリ

アに入ることができる。但し、サポートボートは、救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。

(注) 援助は RRS41 と同義語とする。

- d) サポートボートの出艇申告、帰着申告は、サインシステムを採用する。サポートボートの艇長は、海上に出る前に出艇申告として自分自身でサインし、帰着後直ちに、帰着申告として同じ用紙にサインしなければならない。
- 22.4 サポートボートが SI22.3(a)～(d)に違反した場合には、プロテスト委員会の判断により、そのサポートボートに関する全艇の当該レースを失格とするか、又は、その他のペナルティーを課すことがある。

### 23. 責任の否認

競技者は完全に自らのリスクにおいてこの大会に参加する。RRS4「レースをすることの決定」を参照のこと。主催団体は、この大会前、大会中または大会後のいかなる物的損傷または人の傷害または死亡などに対して一切の責任を否認する。

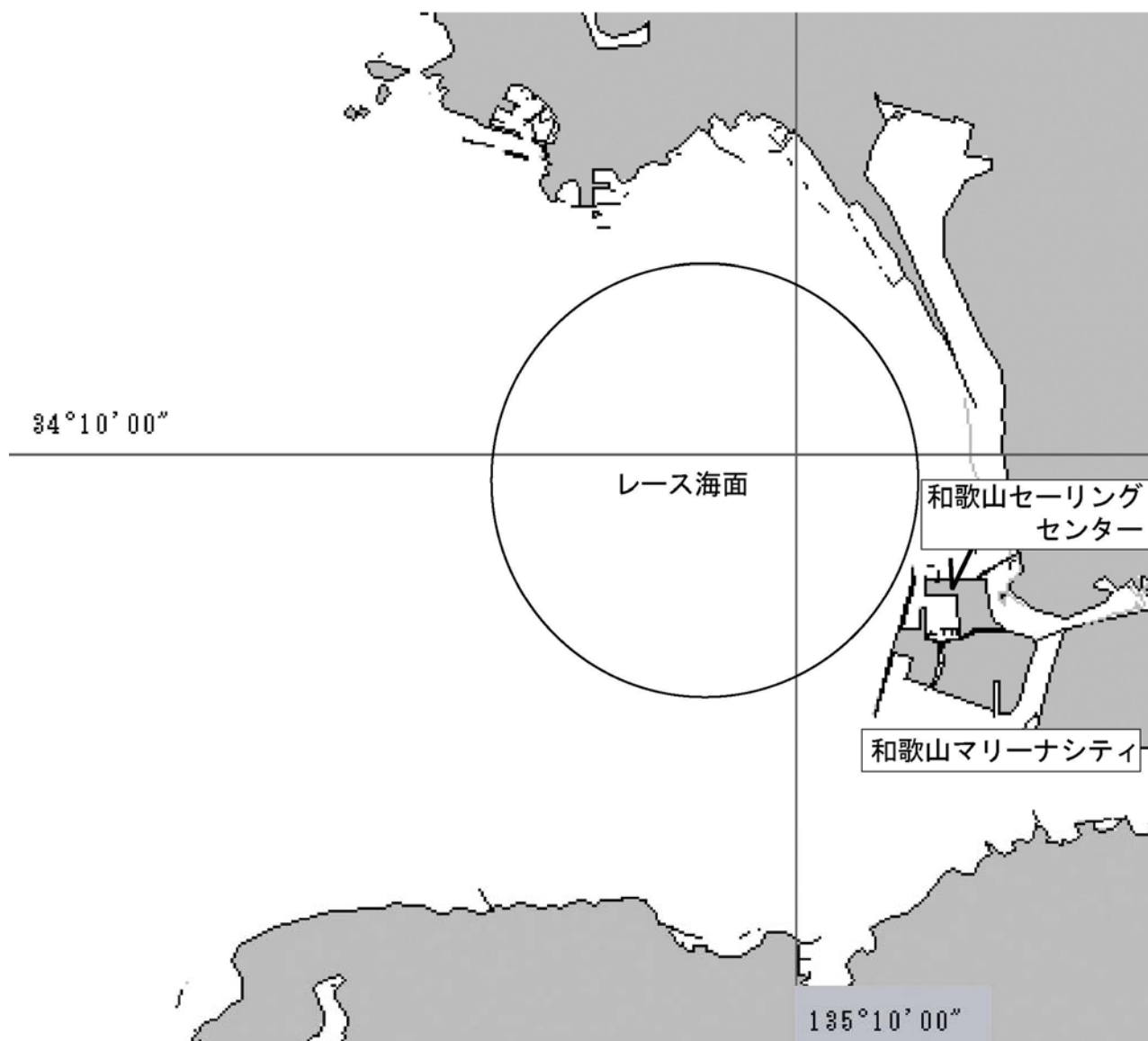
### 24. ゴミの投棄

競技者は、陸、海をかかわらずにゴミを捨ててはならない。やむを得ない場合に限り RC に預けることができる。

(帆走指示書の)「添付 1 図」 レース海面  
(帆走指示書の)「添付 2 図」 コース

-以上-

(帆走指示書の)「添付1図」 レース海面



(帆走指示書の) 「添付2図」 コース

コース (クラス旗) OP級 Aクラス スタート→①→②→③→④→フィニッシュ

OP級 Bクラス スタート→①→②→③→フィニッシュ (②)

角度はおおよそ。

サポートボートは救助時以外、  
各コースから150m以上離れること

Bクラスはフィニッシュライン  
の風上から待機エリアに戻ること

